
咲き乱れる髪の毛

愛・武者修行

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

咲き乱れる髪の毛

【Nコード】

N4796BA

【作者名】

愛・武者修行

【あらすじ】

髪の毛から植物が生える物語です。

髪の毛にも色々あるよね。

黒髪、茶髪、白髪。

私は、皆とちよつと違います。髪の毛に生命が宿っているのです。髪の毛を抜いて地面に植えるとそこから、植物が生えてくるのです。

どんな植物が生えるかって？ それは、植えてみないとわからないのです。

髪の毛はいくら抜いても生えてくるので無問題。

私は、社会奉仕したかったので、この能力が役にたたないかな、と常日頃思っていました。

私は、悩んだ結果、閃いたのです。砂漠や難民の所に行つて髪の毛を植えようと。

すぐに、私は出発したかったのですが、お金がありませんでした。そこで、まずはお金稼ぎです。髪の毛をたくさん、たくさん地面に埋めました。すると、コーヒーの木や様々な果物の木、漢方薬の元となる木、絶滅危機機の木などが、生えてきました。

私はそれを売り沢山のお金を手に入れました。

そして、海外に飛び立ちました。

飛行機の中で、思いもよらぬ出来事が起きました。

一人の男にハイジャックされたのです。私は手首を縛られる時、

髪の毛をハイジャック犯に飛ばしました。

運良く髪の毛は犯人の口の中に入りました。

私はホツとしました。これで安心です。

しばらくすると犯人の口の中から色鮮やかな、赤いバラの木が生えてきました。

私は、その見事な光景に胸を躍らせました。

そして、最初に難民の所へ行きました。

私は髪の毛を一本一本植えていきました。髪の毛からは様々な穀物や果物、豆などが生えました。

皆喜びました。これで栄養失調は免れることが出来るでしょう。次に私は、砂漠に行きました。砂漠でまたもや一本一本植えていくものの見事に砂漠は緑地化されて行きました。私は心が光で溢れていくような満足感を感じました。

私の活躍はテレビで放送され、瞬間に私は有名人になりました。私は、これでもっと援助が受けられて仕事がしやすくなると思っていました。

しかし、人生そう甘くはありませんでした。

私は、ある悪人に連れ去られてしまったのです。

そして私は今地下に閉じ込められて、金になる髪として毎日髪の毛を抜かれ続けています。

その抜いた髪を売ってお金にしようとしているのでしょうか。

これが永遠に続くのでしょうか。私は怖くなりました。

悲しみに暮れて顔を上げて泣いていると何か口の中に入りました。私の髪の毛です。

あっと思った時には、時既に遅し、私の口の中から巨大な満開の桜の木が生えて来たのです。

私は死にました。

その後救出に来た警官らによって、地下室は解き放たれました。

爽やかな一陣の風が地下室に流れ込み桜の木は花弁を見事に散らしました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4796ba/>

咲き乱れる髪の毛

2012年1月13日01時46分発行